

ヤングアダルト通信

VOL.146号 (2018.3)

(発行：碧南市民図書館 0566-41-0894)

ベスト・フレンズ

春は出会いや別れの季節ですね。そこで大切にしたいのは“友だち”。
ということで、友だちをテーマに本を集めてみました。

友だちとのつきあい方を考える

友だちいないと不安だ症候群につける薬

齋藤 孝／著

朝日新聞社 Y158ト

友だちとの関係で大切なことを
この本を通じ著者が伝えます。

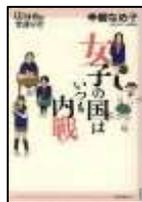


女子の国はいつも内戦

辛酸なめ子／著

河出書房新社 Y159ジ

女子って人間関係が大変ですよ。でも、この本の世渡りテクを使えば女子同士の付き合い方に希望の光が見出せるはず！？



大人も知らない

「本当の友だち」のつくり方

松本啓子／著

かなしろにゃんこ／マンガ

講談社 Y361オ

友だちと心を通わせるために役立つコミュニケーションの方法をマンガを交えながら紹介します。



中学生になったら

宮下 聡／著

岩波書店 Y376チ

中学の3年間はいろいろなことを経験していきます。友だちと過ごす時間もそのひとつ。そんな中学生時代をおもしろく過ごすために読みたい1冊。



10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方

水島広子／著 紀伊國屋書店 Y146ジ

10代に体験するいろんなイヤな気持ち。友だちとの関係でイヤな思いをすることがあるかもしれません。そんなことがあったときの折れない心の作り方を教えます。



友情をめぐる物語・・・

友情リアル

はやみねかおる／他著

講談社 YFユ



はやみねかおる、立石彰、福田隆浩、坂元純の4人の作家による友情をテーマにした短編集です。

大盛りワックス虫ボトル

魚住直子／著

講談社 YFウ



中2の江藤^{えとう}は、クラスでの存在感が薄く、友達もいない。そんな彼が人を笑わせるために、お笑いステージをやる羽目になってしまう。

秘密の菜園

後藤みわこ／著

ポプラ社 YFゴ



中学3年生のサカタが偶然迷い込んでしまった“秘密の菜園”。その菜園をつくったのは、タキイと名乗る少年だった。やがて、ふたりにはその場を通じた交流がうまれる。

リバウンド

E・ウォルターズ／作

福音館書店 Y933ウ



ショーンは、今年こそは学校のバスケットボールチームの選手になるために何の問題も起こさないと決めていた。しかし、新学期早々、車いすに乗った転校生のせいでいきなり事件を起こしてしまう。

黄色い犬 田中 渉／作・絵 小学館 YEタ

町のおもちゃ屋で売れ残っていたぼくを見つけたくれたきみ。そのときから、僕たちは友達になった。ぬいぐるみの犬とその持ち主との心あたたまるストーリー。



王妃の帰還

柚木麻子／著

実業之日本社 YFユ



ある事件をきっかけに、クラスのトップグループにいた“王妃”が最下位グループへと陥落してしまう。このグループは彼女をなんとか元のグループへ戻そうとあれこれ手を打つのだが…。

時速47メートルの疾走

吉野万理子／著

講談社 YFヨ



3年4組は、無難でこのままでは誰の印象にも残らないようなクラスだった。しかし、体育祭の応援団長におとなしい男子のヒラマチが選ばれたことから、クラスみんなの気持ちに変化が起き始める。

金魚たちの放課後

河合二湖／著

小学館 YFカ



転校生としてやってきた蓮実^{はすみ}とクラスメイトをつなげてくれたのは金魚だった。やがて切れかけそうになった友情も、金魚を通じて再びつながっていく。

きみの友だち

重松 清／作

新潮社 Fシ



11歳の誕生日をむかえた恵美には祝ってくれる友だちがいない。それは、去年起きた交通事故がきっかけだった。この事故で、恵美は左脚の自由と友だちを奪われてしまう。

担当のつぶやき

自分の車に乗ると、その日は何の日かをカーナビが教えてくれます。2月22日に乗ったときのこと。この日はきっと「猫の日」と言ってくれると思っていたら、「世界友情の日」だと教えてくれ、期待を裏切られました。最近の猫ブームに流されていないカーナビなのでした。①